

2019.1.5(土) 天気/曇り 参加者/ 一般5人 指導員：2人(森功一、辻愛子)

暦/冬至、末候、「雪わたりて麦出る」 持寄りおやつ/どんぐりコーヒー、ハーブ茶、有機紅茶、ドイツ産チョコレート、森で摘んだフユイチゴ

今年最初の観察会。気持ち新たに森に向かう。

駐車場に入ると、嬉しいことに森さん発見。「お待たせしてすみません」と、急いでかけよると、「少しだけど、どんぐりコーヒーを作ってきたよ」とうれしい一言。

森の恵みを一粒一粒拾い集め、手間ひまかけて作ってくれたぜいたくなどんぐりコーヒー。新年早々、みんなと一緒に森の中で味わいたいなあと、まだ誰もいない集合場所で皆の到着を心待ちにする。

掲示板のところにある、落し物ボックスの中では、先月冬越しをする虫たちの姿があったが、開けてみるときれいに掃除されていて、姿がない。残念に蓋を閉めようとしたとき、「こんなところにいた！」かどっこの上の隅に、身を寄せ合っているハムシたちの姿を発見。無事の姿にホッとすする。

森の中に入っていくと、珍しい黄色の千両。色彩の少ない森で、小さな粒でも黄色の実に目が行く。

どんどん森の中へ進んでいくと、広がる落ち葉の海、海、海。一面に広がる落ち葉の大海原の世界。落ち葉の上はふかふかして優しい。普段アスファルトの上を歩いているので、しばらく忘れていたこの感触。歩くたびに足の裏から伝わるほんわかした感覚にうれしくなる。

落ち葉の海を通り過ぎていつものスケッチの定番のベンチのところまで来ると、なんと、森の中でコンクリートの道が出現した。先月まで素敵な小道だったのに。

ここは、雨が降るたびに掘れてしまい、危ないからとこのようなことになったそうだ。真ん中に大きな木がありその奥につながっている小道の景色がとても好きで、幾度となくスケッチをした大好きな小道の風景。失ってみて大好きな大切な景色だったことに気づく。

森の遠くの方から、元気な黄色い声が聞こえてきた。てるくんの声だ。もうすぐそこかと感じたけれど、随分してからやってきた。子どもの声は、遠くからでもよく通ることがわかった。着くなり、本日のデザート、フユイチゴを拾おうと持ち掛け、こんなところにあった！と丸く広げた葉っぱの足元にある艶やかでみずみずしい真っ赤ないちご。落ち葉の中で光る宝石のようだ。次々に、あった！あった！と黄色い明るい声が森に響き渡る。

今日もスケッチをしながら、みんなで摘んだフユイチゴのデザート、そしてどんぐりコーヒーの味は格別だった。

